

生活習慣病と消化管疾患

司会 佐賀大学医学部内科学
名古屋市立大学大学院消化器・代謝内科学

藤本 一眞
城 卓志

生活習慣は、これまで代謝疾患や循環器疾患と結び付けられることが多かったが、最近では、消化管疾患との関連も明らかになってきた。すなわち、生活が欧米化するにつれ、大腸では癌やIBDが明らかに増加し、上部消化管でも胃酸分泌、GERD、あるいは *H. pylori* 感染や慢性胃炎の病態にも大きな影響を及ぼすことが知られるようになった。ここでは、さまざまな生活習慣あるいはそれに起因する病態と消化管疾患についての演題を広く募集し、現時点での問題点と明らかにし、今後を展望することしたい。